



神栖市文化財分布地図



山本家住宅

国指定重要文化財

区分	概要	寸法
桁	桁行両端柱間長	19.680m
梁	梁間両端柱間長	10.528m
南面突出部桁	桁行両端柱間長	8.938m
南面突出部梁	梁間両端柱間長	6.879m
軒高正面	柱礎石上端より広小間下隅まで	3.220m
棟高	柱礎石上端より棟頂上まで	8.980m
南面突出部棟高	柱礎石上端より棟頂上まで	7.920m
平面積	側柱内側面積	244.383㎡
軒面積	茅持丸太内側面積	280.471㎡
総面積	平面積	445.783㎡

山本家は鹿島灘に近い神之池畔にあって、網元を以ていた漁家で、名を勤めたこともある旧家です。建築年代は定かではありませんが、手法様式から推定して18世紀前半と考えられる茅葺き構造です。構造は、内部柱間と内部柱・側柱間を繋ぎで繋ぎ、前面は繋ぎの端が外へ出るせいで造りとなっています。また、漁家で重文に指定されているのは山本家を全の4件しかなく、良質で耐久性に優れたもので構造的に県南部の民家建築特性に共通する部分も見られ、この地方の民家の特性を知る上で重要な遺例となっています。

建築後、江戸時代の文化年間(1804-1817)にかけて大きな修理が行われたという裏書が「ゲンカン」などから発見された。その後も小修理を重ねていたが、1992年(平成4)より2年間かけて行われた全面修復工事によって、建築当初の姿に復元されました。

また、平成18年2月には、水産庁の「未来に残したい漁業漁村の歴史的文化遺産百選」に認定されました。



お問い合わせ先
神栖市教育委員会文化スポーツ課
 〒314-0192 茨城県神栖市溝口4991-5
 TEL 0299-77-7495 FAX 0299-77-7703
 平成30年10月改定



鳥栖神社(C-3)

鳥栖神社は、鹿島神宮・香取神宮と共に東国三社の一社として信仰の篤い神社でもあり、古くから国史にも見え、日々に鎮座していた神を大同2年(807年)、右大臣藤原内膳の命により現在地の鳥栖に遷座したと伝承されております。

祭神は、現在岐神(たののかみ)・天鳥船神(あめとりふねのかみ)・住吉三神とされ、海上守護、交通守護の守り神と崇められている。

社殿は享保8年に建替えられたが、それが昭和35年10月焼失し、昭和38年5月に新たに完成した。



鳥栖井(鳥栖神社)(C-3)

男瓶・女瓶と呼ばれる2つの井戸であり神功皇后の3年(194年)に造られたものと云われている。伊勢の明皇井、山城の直井と併せて日本三霊水と云われている。



芭蕉句碑(鳥栖神社)(C-3)

碑面には「この里は気吹(ま)い(ま)ど(ま)しの風塵」の句が、大原幽学の日記にも記載されているが、芭蕉が息栖まで着たかどうかは明らかでない。



獅子舞(ささら舞)(D-4)

鹿島神宮に奉納されたものが、江戸中期頃からは鳥栖神社の大祭に奉納されていた。大正10年頃からは白鳥神社に奉納している。



草履石(弥勒院)(B-3)

古徳半兵衛が、お産で亡くなった家族の追善供養に法華経を写して埋納したもの。



浄妙塚(B-3)

簡井浄妙は、平家物語にみえる三井寺の僧尼として活躍した人物である。新編常陸国誌によると簡井に殉じた浄妙は福徳寺を築き60歳で入定したと言われ、それが浄妙塚と呼ばれている。



権現塚古墳(E-5)

現在市内に残っている唯一の前方後円墳です。この権現塚は長さ約20m、幅約5.6mの東西方向を主軸とし、前方部より後円部が高いことから古墳時代前期に造られたと考えられています。

*****埋蔵文化財(遺跡)一覧*****

遺跡番号	遺跡名	所在地	種類	現況	備考	時代・時期					地区索引	
						旧石器	縄文	弥生	古墳	中世		近世
神001	石塚古墳群	日川字石塚4199-1外	古墳群	公園、宅地	円墳1基残存	○						E-5
神002	種現塚古墳	日川字石塚4241-1	古墳	神社、山林	前方後円墳、一部削平	○						E-5
神003	芝崎古墳群	芝崎字道369-2外	古墳群	工場跡地	灌漑	○						D-4
神004	長塚古墳	深芝字折戸山2769-3	古墳	宅地、道路	灌漑	○						B-3
神005	魚塚	田畑字大内425	塚	山林	供養塚、10基確認	○	○					D-4
神006	鳴子塚古墳群	息栖字鳴子2651-34、27	古墳群	荒地	円墳5基、H元発掘調査、灌漑	○						C-2
神007	庚申塚古墳	萩原字平毛地外	古墳	山林	古墳	○						D-4
神008	供養塚古墳	芝崎字堀之内272-2	古墳	宅地	円墳1基、墳丘部削平	○						D-4
神009	ふた子塚古墳	石神字中山784-2	古墳	道路	H2発掘調査、古墳と思われない	○						D-4
神010	萩原貝塚	萩原字西野962	貝塚	宅地		○						D-4
神011	奥野谷貝塚	奥野谷字出羽5556-2	貝塚	道路	貝殻・土器・土師器・土師器片、S3発掘調査、灌漑	○						D-5
神012	日川貝塚	日川字外内1113外	貝塚	畑、宅地、水田		○						D-5
神013	日川一番遺跡	日川字石塚4126、4125-2	包蔵地	畑、山林	H30試掘、灌漑	○						D-5
神014	台山遺跡	知手字台山150-1、151-1	包蔵地	山林		○						D-4
神015	殿山遺跡	萩原字西野957外	包蔵地	畑、山林、宅地		○						D-4
神016	石塚遺跡	日川字石塚4079外	包蔵地	畑、山林、宅地		○						D-5
神017	ふたご塚遺跡	息栖字二子塚3036-4外	集落跡	畑、道路、山林	貝殻・土器・土師器片、S35発掘調査、一部灌漑	○						D-3
神018	田畑遺跡	田畑字三渡245-3外	包蔵地	水田、宅地		○	○	○				D-4
神019	木崎貝塚	木崎字南町808-1	貝塚	畑		○						C-4
神020	鳴子遺跡	息栖字鳴子2651-34、27	集落跡	荒地	H元発掘調査、灌漑	○						C-2
神021	賀貝塚	賀字岡町2048-1外	塚	畑、水田		○						C-2
神022	武代遺跡	賀字武代1888	包蔵地	山林		○						C-2
神023	山中貝塚	賀字山中2045-1外	貝塚	畑、山林、宅地、水田		○						B-2
神024	簡井貝塚	簡井字内1389-1外	貝塚	畑、宅地		○						B-3
神025	西町貝塚	下橋木字三嶋56外	貝塚	神社、畑、水田、宅地		○						B-2
神026	馬城遺跡	下橋木字馬城4072-14、15	包蔵地	水田		○						B-2
神027	上の山遺跡	深芝南2-29-3	包蔵地	畑、宅地		○						B-3
神028	うずも遺跡	東和田21	包蔵地	砂丘		○						C-5
神029	びわ山遺跡	東和田17-1外	包蔵地	工場跡地		○						C-5
神030	屋敷山遺跡	賀字屋敷山2282外	集落跡	水田、山林、畑		○	○					C-2
神031	鳥栖遺跡	鳥栖字新林町2561-2外	包蔵地	畑、竹林、草地		○						C-3
神032	三渡遺跡	石神字三渡後1034外	集落跡	畑、山林		○	○	○				D-3
神033	内谷津貝塚	田畑字内谷津581-1	貝塚	山林		○						D-4
神034	浄妙塚	簡井字坊内1171-1	塚	墓地		○						B-3
神035	賀台山遺跡	賀字台山2307-1、3	集落跡	水田	S56発掘調査、灌漑	○						C-2
神036	二本松遺跡	木崎字二本松1354-1	包蔵地	宅地	S59発掘調査、灌漑	○						C-4
神037	一夜堀遺跡	平泉字竹ノ内2716、2717	包蔵地	水田	H2試掘調査、灌漑	○						B-3
神038	尾山遺跡	簡井字尾山1666-6外	包蔵地	道路	S59発掘調査、灌漑	○						C-3
神039	藤塚遺跡	息栖字藤塚2772	土壇跡	砂利洗浄場	S60発掘調査、灌漑	○						C-3
神040	北後遺跡	高浜字北後1514-2外	包蔵地	道路、山林	S54発掘調査、灌漑	○						D-3
神041	豊田城跡	萩原字豊田213外	城跡跡	寺院、水田		○						D-4
神042	沼田遺跡	簡井字沼田1422-161外	包蔵地	団地	S54発掘調査、灌漑	○						C-3
神043	立野遺跡	賀字東台2100-58外	包蔵地	団地	S54発掘調査、灌漑	○						C-2
神044	大内遺跡	高浜字大内2761外	包蔵地	畑、水田、宅地	H16発掘調査、灌漑	○						D-3
神045	前ノ内遺跡	高浜字前ノ内882外	包蔵地	畑、水田、宅地		○						D-3
神046	石神城跡	石神字御城701-1外	城跡跡	寺院、水田、宅地、畑		○						D-4
神047	芝崎遺跡	芝崎373-1、萩原字西野942、943	集落跡	荒地、畑、一部ノゾー	H19試掘 住宅跡7軒、溝10条、土柱5基、H29試掘 住宅跡3軒、かまど跡1基	○						D-4
神048	三渡北遺跡	田畑字内山525-5、526-2	包蔵地	宅地	聖穴建物跡1棟、土柱2基、集合住宅建設に伴いH28試掘	○						D-4